

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年7月18日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	福岡県	代表者名	小川 洋
担当者部署	企画・地域振興部	連絡先電話番号	092-643-3229
担当者役職		担当者氏名	
住所	812-0045 福岡県福岡市博多区東公園7-7		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	東 富彦
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	説明会の内容について、東氏に依頼する部分だけではなく、説明会全体の内容及び他の発表内容についても具体的なアドバイスをいただきました。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年6月19日	16時00分	17時00分		60
3-2. 派遣場所	会場名	福岡県庁		最寄駅	馬出九大病院前
	所在地	福岡市博多区東公園7-7			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	職員がオープンデータの登録を進めるにあたり、オープンデータの概要や、オープンデータを公開することの具体的なメリットが理解されていない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	説明会で具体的な事例を示すことにより、庁内職員のオープンデータに対する理解を深め、積極的に公開してもらえるよう意識を変えていくことによる、オープンデータ公開数の増加。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	次のようなアドバイスを受けた <ul style="list-style-type: none"> 具体的な事例は、国内、国外とあり、国外はスケールの大きい事例が多い。 国内の事例を中心に、なるべく公開側のメリットが示唆できる事例を選ぶ。 オープンデータ概要の説明についても、総務省「オープンデータ研修ポータル」のQ&Aや公益財団法人九州先端科学技術研究所「オープンデータセンター」の内容を紹介するなどするとよい。 	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	説明会の内容及び資料が具体的になった。 説明会全体の組み立てが体系的になった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	説明会資料 (一週間後を目途にそれぞれ資料を作成し、調整する)	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打ち合わせのためアンケートは未実施	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	説明会の実施、原課によるオープンデータの公開促進	
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。		